

課題名	かんきつ園周辺におけるチャノキイロアザミウマの越冬と春季発生											
成果の要約	2月にはカンキツ樹下土壌とイヌマキ樹皮内に越冬成虫がみられる。この成虫は3月下旬から活動を始め、サンゴジュ、モミジイチゴ、タニウツギ、チャ、イスノキ、カナメモチに寄生し産卵する。第1世代幼虫は4月中旬から出現する。											
成績	第1表 イヌマキ樹皮加温による越冬成虫の脱出経過											
	加温開始月日	イヌマキ樹皮数	脱出期間	最多脱出日	脱出数	樹皮当り数						
	月 日 2. 24 3. 5 3. 18 3. 25 3. 30 4. 6 4. 11	75 60 45 35 25 30 20	日 6 5 3 2 1 — —	日 4 3 2 0 0 — —	26 77 24 43 17 0 0	0.35 1.28 0.69 1.23 0.68 — —						
概	第2表 チャノキイロアザミウマ越冬成虫の各種樹木への寄生											
	樹種名	3月				4月				5月		
		7	17~18	25	28~30	6~8	8~11	16~17	24~27	1~2	7	
チカブナリウビアマ温イイサンメラカナホソノアシナツ ヤキウシゴメワツカンキキユメアカシモチイチゴバラモジョウイ 0 0 0 7 16 5 1 32 *180 *66 0 0 0 0 5 *24 3 *44 *56 0 0 0 0 3 1 1 *2 *2 0 0 0 0 3 3 8 *8 *5 0 0 0 0 0 1 2 0 0 0 0 0 2 7 5 5 0 0 *3 0 0 0 2 2 12 7 *11 *31 0 0 0 0 2 *8 *24 *7 0 0 0 0 1 1 0 0 0 0 0 0 3 3 10 *34 *32 *251 0 0 0 1 5 3 *26 *11 *6 0 0 0 8 8 3 *5 *2 0 0 0 5 *26 *40 *201 *201 0 0 0 6 *15 *15 0 0 0 1 8 1 4 0 0 0 1 1 0 0 0 0 3 *33 0 0 0 6 *28												
普留及意上の点	越冬量と以後の発生ならびに被害状況との関連をえて発生予察事業に生かす。											

(昭59長崎果試)